



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年7月10日

我孫子市小中一貫教育だより

第337号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「ようこそ 布佐南小学校へ！」

7月2日に布佐南小学校の1年生生活科でAbi-ふるさとの授業が行われました。この学習では、交流活動を通して、自分自身の成長を振り返り、自信や達成感を高めることをねらいとしています。

交流を心待ちにしていた1年生。園児が教室に入ってくると、手を振ったり、声を掛けたりする様子が見られました。挨拶を終えると、歌やダンスを発表しました。次に、みんなでゲームをしました。いす取りゲームでは、小学生が率先して椅子の準備をしました。1つの椅子に複数の人が座ったときは、自然と園児に椅子を譲る姿が見られました。



ゲームの後は、児童と園児でペアを作り学校探検に行きました。業間休みと時間が重なったこともあり、他の学年の児童も、園児や保育園の先生に声を掛け、学校の中にたくさんの笑顔が溢れました。教室に戻り、折り紙で作ったプレゼントを渡しました。

感想発表では、「会えて嬉しかった。」「一緒にゲームや学校探検ができて楽しかった。」「また遊びたい。」などの声が上がりました。いつまでも手を振り離れがたい様子の子供達に、準備や交流活動を通して地域との結びつきが深まったことを感じました。

Abi-ふるさと「台風と防災」

7月5日、我孫子第三小学校の5年生理科で「台風と防災」の授業が展開されました。台風について学んだことを自身の学習や生活に生かそうとする態度を養うことを目的としています。

「自分たちでできる防災対策を考えよう」という本時の課題が提示され、水害が発生すると自分たちの生活にどんな影響があるかを考えました。初めに、布佐地区で起こった水害、数年前の利根川の氾濫、明治期の水害被害の様子を写真や映像で提示し、我孫子市の人々が昔から水害と向き合いながら生きてきたことや水害が身近な問題であることを捉えさせました。次に、グループごとにハザードマップを配付し、自分の家の位置に印を付けました。家の状態が具体化することで「家は大丈夫」「5mの水の底」など、水害をより身近に感じることにつながりました。その後、改めて防災対策について考えました。



児童から、「集合・避難場所を確認する」「防災グッズを準備する」「ニュースをしっかりと見る」「物が飛ばないように片付ける」など、学んだことを自分の生活にどのように生かすかを考えた発言が上がりました。振り返りシートにも、今日から行動しようとする記述が見られ、授業が大変に意義のあるものであったことが確認できました。